

関商工バトン 全国大会で 金賞



千葉県・幕張メッセで行われた第39回マーチングバンド・バントワリング全国大会に、30年連続の出場を果たした関商工高校バントワリング部が、見事金賞に輝きました。今年のテーマは「NATURE(ネ

イチャー)」。この大会に向けて日々練習を積み重ね、本番ではメンバーが一丸となって堂々と演技を披露することができました。今後も新たな目標に向け、より素晴らしい演技ができるよう、練習に励みます。

あんな事、こんな事

関市イメージキャラクター
「関*はもみん」



刀都の新春 伝統の火花

刃物のまち関市の新春を告げる恒例の「古式日本刀鍛錬打ち初め式」が関鍛冶伝承館で行われました。市内外から詰めかけた多くの来場者が見守る中、白装束に身を包んだ刀匠らが1年の盛業と安全を願って折り返し鍛錬が披露されました。火床で赤く熱せられた玉鋼を大槌で勢いよく交互に打ち付け、快く響く音と飛び散る火花に歓声が上がっていました。

全国の舞台でハツラツプレー

昨年12月に開催された第91回全国高校ラグビーフットボール大会に出場した関商工高校は、愛媛県代表の北条高校を5対0で破り、見事1回戦を突破しました。2回戦は奈良県代表の御所実業高校と対戦し、残念ながら敗れました。必死の守備で食い下がり、最後まで元気な姿を見せた選手たちに、観客席から惜しめない拍手が送られました。





防火・防災への決意新たに

新年恒例の関市消防出初式が、消防団員をはじめ消防署員や耐震貯水槽消火隊員ら約 700 人が参加して盛大に行われました。文化会館での表彰、消防音楽隊による演奏の後、稲口の津保川河川敷で消防車両 84 台から一斉放水をして士気を高めました。防火の誓いを込めた色鮮やかな放水に、見学に訪れていた市民から大きな歓声が上がりました。

掛け声威勢よく

中濃公設地方卸売市場で今年の初競りが行われました。競り前に関係者 70 人が集まって初市式を開き、尾関市長が「震災後、食に対する意識が高まり、今後も新鮮で安全な食品の供給をお願いします」と挨拶しました。手締めを合図に初競りが始まると、白菜やカブ、大根、トマトなどが競り人の大きな声で次々と競り落とされていき、市場は活気にあふれていました。



木っかい隊が来園

自然いっぱいの環境を生かして「木」にふれあい、健やかな暮らしを目指す木育プログラムが南ヶ丘保育園で開かれました。県産材のPRに取り組む「ぎふの木っかい隊」が講師となり、園児が木の実や枝を使ったオブジェ作りに挑戦。丸太を輪切りにした板に、葉っぱや小枝などを思い思いにボンドで貼り付け、友だちや動物などの顔を制作しました。木の感触や匂いを体感し、木に親しみを持つ活動となりました。

私たちの安全を守る消防士

中濃消防組合消防本部で、消防署の出初式ともいえる年頭の管理者点検が行われました。管理者の尾関市長の点検に臨んだ署員らは、規律よくきびきびとした行動で点検を受けました。昨年の中濃消防組合管内の火災発生件数は 68 件でした。日々、消防・救急業務を遂行し、私たち市民の生命・財産を守ってくれる頼もしい消防署員の皆さんに感謝と敬意を表します。



こぼれ話



昨年の秋頃から、インターネット上でのコミュニケーションができる、ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)を活用するきっかけがありました。SNSでは「おはよう」などの挨拶から日記みたいなものまで、内容はさまざまですが、お互いの情報を共有することで、ご近所から海外の方まで気軽にコミュニケーションが図れます。パソコンや携帯電話、スマートフォンなどインターネット環境があれば比較的簡単に始めることができます。

広報せき 1 月 1 日号で「はじめての図書館」取材して

いただいた市民記者の皆さんは全員 SNS を利用されていて、会議や取材の日程調整、原稿の校正など事務的な連絡を、ほとんどインターネット経由で行いました。今回は、全員が同じ SNS サービスを利用しているという条件がそろって実現できましたが、事務効率の向上、情報共有、ペーパーレス化などという一つのモデルになりました。いろいろな方との新しいコミュニケーションツールとして期待しているところです。市役所では「ツイッター(twitter.com/#!/sekimaster/sekicity)」を利用し情報発信していく準備を進めています。皆さん、ぜひ覗いてみてください。